

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 093	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 湘南ゴールドの栽培方法の確立について(継続)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 JAかながわ西湘では第2次地域農業振興計画を策定し、共販集荷量100tを目指し、栽培指導と普及拡大を行っている。 下記の項目について栽培方法の確立に向けた試験をお願いしたい。 ① 連年結実 ② シンニング法 ③ 高糖度化 ④ ヒリュウ台 ⑤ 革命的整枝剪定方法(ウサギの耳剪定や盃状形など)	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	湘南ゴールドの栽培技術の確立		
対応の内容等	ご指摘頂いた課題については、上記課題の中で取り組んでいるところです。①及び②については、L M級果中心の連年結果を目標に、摘果方法を中心に検討しています。③については、今年度実施している施設栽培における灌水試験の結果を参考にし、露地栽培における不織布資材(タイベック)の土壤被覆による水分ストレスが糖度に与える影響について検討をしていきたいと考えております。④については、仕立て法の違い及び結果開始樹齢の違いによる樹体成長、収量及び隔年結果性について検討しています。⑤については、摘果方法の一つとしてウサギの耳剪定の適用性、及び連年結果及び省力化を目標とした盃状形整枝の検討を行っています。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			